

ISSN 0013-7928  
CODEN JABLDL  
1997

作

建築雑誌

増刊

品

Journal of Architecture  
and Building Science  
Architectural Institute  
of Japan

選

日本建築学会

集

建築雑誌

# 多摩川幼稚園

東京都あきる野市雨間430

渡辺 治

渡辺治建築都市設計事務所

主な用途：幼稚園

敷地面積：3,260.47 m<sup>2</sup>

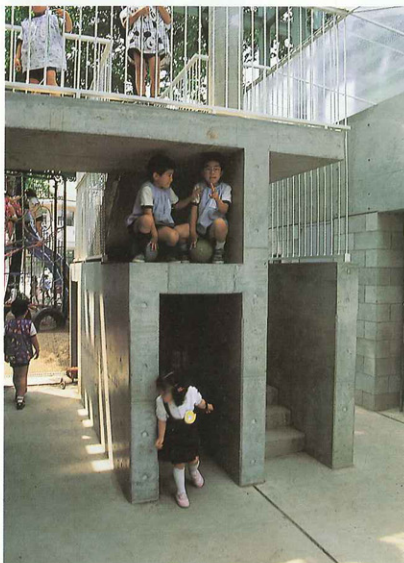
建築面積：191.62 m<sup>2</sup>

延床面積：175.73 m<sup>2</sup>



遊離用滑り台

※撮影：渡辺 治



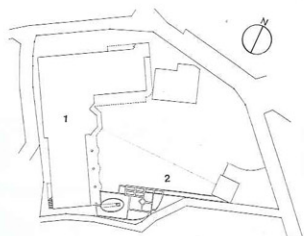
ゲート（モニュメント）部/バス待合空間

※



緑に透ける空中通路

※



1. 本館
2. 計画建築

配置図 1/1400

北側立面図 1/300



## TAMAGAWA KINDERGARTEN

430, Amema, Akiruno-shi, Tokyo

WATANABE Osamu  
OSAMU WATANABE ARCHITECTS

### 選評……平倉直子

■幼稚園の本体の実施設計がなされてなお、子供達のスペースとして夢を持ってない計画に疑問を持ち、建築家を探し、手立てを講じていったという経緯が付属施設を応募した所以である。

■あきらめずに周辺の付属施設に希望を託し、できるときにできるところから取り掛かった執念に、職員および建築家の情熱を感じ、さわやかである。

■街中には、アーケード、サイン（広告）、ガードレール、電柱などが氾濫し、建築その



不足する部屋の充足、門まで雨に濡れずに到達、バスを待たための屋根の確保、その周辺にモニュメントの設置、既存遊具との接続、という条件とともに設計依頼を受けた。

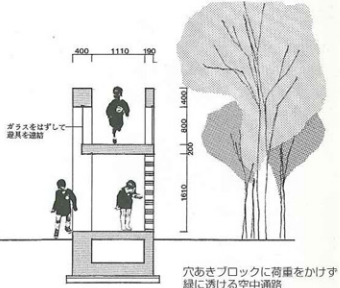
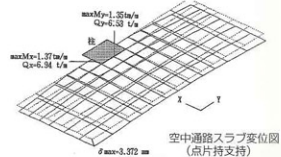
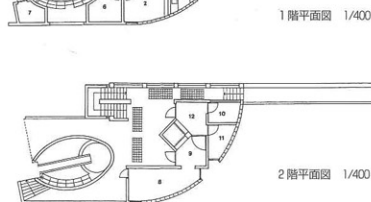
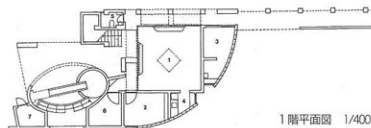
バス待合場は、雨を防ぐ巨大モニュメントとし、1階には大きな1室を確保し、その周

辺と2階に他の諸室を配置した。南側に緑が繁っており、主たる採光は上空からとした。

本館部分の避難用滑り台を改造し、当建築と動線的に連結させた。モニュメント部への通路部には、既存遊具が連結され、結果、そこから登った子供は、通路上を走り本館の滑

り台から滑るという巨大遊具が完成した。この巨大遊具は、各所にリフージ（隠れ家）を有しており、幼児の創造的な遊びを誘発させる。幾つかの彫刻的な要素は、子供達には使用可能であり、遊び相手となるのを待っているかのように鎮座している。

- 1. 役員室
- 2. 役員控室
- 3. 運転手控室
- 4. 給湯室
- 5. トイレ
- 6. 倉庫
- 7. 倉庫
- 8. 事務所
- 9. 事務所控室
- 10. ピアノ練習室
- 11. ピアノ練習室
- 12. ピアノ練習控室



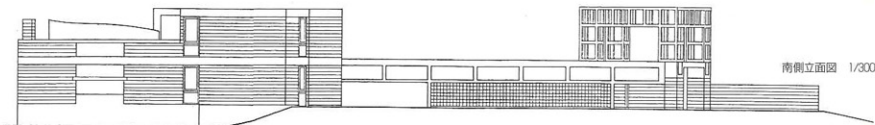
※ 役員室外部通路



※ 役員室



※



ものよりも周縁の物によって、ファサードがつけられている。こうした安易な計画への警鐘ともいえる応募である。

■応募の付属施設とは、本館から送迎バスの乗り場まで児童が雨に濡れずに移動するための渡り廊下である。そこに保護者の活動のた

めのスペースや、卒園生も利用するピアノの練習所、スタッフルーム等、外に開かれたスペースを付加し、さらにスチールに色とりどりにペインティングした遊具を接続していくことにより、単なる通路ではなく、全体を総合した遊具となるよう計画したものである。

FC 打ち放しに疑義も出たが、子供達のふるまいや、周辺の樹木の中で違和感なく、また、子供達のスケールに合わせた計画は密度高くまとめられている。